

秘密指定解除

外交記録・情報公開室

極秘  
まで

沢田首席代表

条約局長

参事官

条約課長

法規課長

アジア局長

宇山参事官

ト部参事官

北東アジア課長

自民党8議員 及び 伊南局長の訪韓

36年(5月6日—12日) 関係 会談記録

北東アジア課

目次

1. 張勉 國務總理との 会談要旨

2. 鄭 外務部長官との 会談要旨

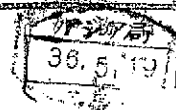
3. 伊南局長・金次官 会談要旨

(付) 伊南局長の 所見 未之方 及び 指示事項

別添(1) 訪韓日誌

別添(2) 一行氏名

2005



秘密指定解除

外交記録・情報公開室

秘

主  
下

訪韓議員団と張勉國務院總理との  
會談要旨

26年

(10時) 5月8日午前11時より約1時間

(全龍周民主黨參議院院內總務陪席)

張總理：日韓間の國交正常化が強く望まれた

この時期に、日本議員団が来韓さ

れたことを歓迎し、これにより國交正常化

が一層促進されることを希望する。池田

總理の親書をいただき、日本が日韓關係

に深い関心を抱いているとして喜ばし

く思う。日韓関係は形式的に区切りを離れ

双方の誠意と善意により解決しなければ

ならないと思う。

野田局長：（来韓の目的、自民党に懇談会が下

きた経緯等を述べ、反共の必要を力説した

後）革命といふものには必ず混乱が伴

うが、韓国が張総理の指導の下にこの混

乱を收拾し、再建に努められておられること

に敬意を拂う。韓国側の計画をよく

うかがつた上で、日本としても出来るかぎり

これに協力して行きたい。

張： 自今は李承晩時代、野におつた頃から

行きずみだに対日感情はよくないと主張し

日韓両国は反共といふ目的から此連が

国交を正常化したければならぬとの信念

を披瀝してゐた。この信念は今日も全く

変わりはない。ただ韓国の国民感情として

26年間のことを一挙に忘れろといつては

忘れられない。皆さんのこの現実には

深い同心を拂つていただきたい。このこと

はあえて過去を云々するのではなく、将来

両国国民が心と心で結ばれるためには

過去の韓国人の心のまぶれに対して、日本が

正義の足地から済まないと云う氣持を表明して

ほしいと云うことであり、失礼な言ひ方では

しれないが、どうか大局的足地からこの真

を深く考慮されるよう希望する。

現在の予備合談で事務的ならぬとは

解決し、本合談では高位層で大局的

足地から解決をほかるべきだと思ふ。この

是れとも、解決しなければならぬと思ふ。

革命後の秩序をしいに安定して来た

また一部に伝えられる政局の不安も次

第に安定に向つてゐるから御安心いたされ

たい。

韓国では北鮮側の謀略をいかにして防ごうかに現在全力を注いでいる。日本側の「北送」は遺憾である。また日本を足場としての共産分子の韓国潜入防止について日本側の協力をお願いしたい。

田中(竜夫)：(第一に)速かに駐韓日本代表部設置を認めしてほしい。(第二に)日本が韓国を経済侵略する野望など一毛頭ないことを御理解の上、日本側の経済協力の方えを受け入れていただきたい。(第三に)日韓合談は事柄折衝の後、高度の政治折衝を行なう必要があると思ふ。

~~金~~ ~~岩~~ ~~三~~ : 過去の歴史といふことについての韓国  
福田

の国民感情はよくわかる。他方、日本の国

民感情としても、終戦後23年の間の在

日朝鮮人の間にこころを交し、うらみや不満

をこめていたものがあり、丁度韓国の指導者

が拂われている苦心と同じような苦心を

我々も拂っている次第である。

~~張~~ : 結局、双方の政府が双方の国民感情  
張

をよく導くことが大切だと思ふ。

田中(角榮) : 日本における北朝鮮側の勢力は侮り難

いので、日韓合談も高度の政治的判斷

により、具体的な問題を次々に解決して

いかにしたいと、結局、国際共産主義に乗せ

られてしまふのではないかと心配する

張： 全く同感である。

野田： 貴総理が、7月渡米の帰途、日本に立ち

寄られてはどうか。これは池田総理から

の希望である。

張： もう少し研究させていたいただきたい。



秘密指定解除

外交記録・情報公開室

秘

下

訪韓議員団と鄭外務部長官との会談要旨

26年

(10時) 5月10日 午後2時より約1時間

(金溶相事務次官等陪席)

鄭： 昨年9月の小坂大臣の来韓以来、日韓関係

は次第に好転してきたが、今回の議員団来韓

を契機として両国関係が一層緊密化し、両

国が反共の友となることを願ってやまない。

野田： 日韓両国は地理的・歴史的関係なれど

所共の必要性からいって、いわば運命共同体の同

柄だと思ふ。今回の我々の訪韓により、両国の

政治家が知り合ひになれた。それは国民同士

が知り合ひにと意味し、それはやはり両国

間懸案の解決にも役立ったかと思つてゐる。

鄭： 韓国新政府は日韓関係の一日も早く

正常化のために非常な努力を拂つてゐる。

日韓の国交樹立を通じ、東洋ひいては

世界の平和に貢献したいと願つてゐる。

野田： 外務部長官の立場は難かしく、苦しく、

極はさぬのようではあるが、どうか一段

と進捗していただきたい。

鄭： 苦しいのは小坂外相も同じだろう。としか

く相互理解と協調の精神で道を開いてい

たいものである。

野田： (自民党内の懇談会成立の経緯を説明)

田中(角栄)： 両国の外務省が「仁事」をしように

してやるのびわれわれ政治家の任務だと

思う。韓国国民の中には対日不信感がある

のと同じように、日本国民の中にも、そんな

に急いで日韓関係を改善する必要がある

のかという意見がある。また、北朝鮮と朝鮮

人の日韓会談阻止の動きもある。私は、この

ような事情だから、早急に国交正常化を

同すべきだと思ひ、そのためには、小さいこと

にたわらず、大きなことをやるという気持ち

大切だと思ふ。

鄭： 懸案解決のため双方が努力すべきで

ある。小さいことにたわらず大局を誤ら

べきではない。日韓会谈を結ぶため

には伊岡局長が大変努力しておられる

ので、岡局長が今後とも仕事をしやすいよう

にしていただきたい。

田中栄一： 在日朝鮮人 60万のうち、16万が韓

国系、他は北鮮系である。終戦直後は

韓国系が多かったのに、次第に北鮮系が

伸い。現在の16万の韓国系も常に北鮮系か

ら圧力を受けている。日韓国交調整の遅

れれば遅れるほど北鮮系が伸いるおそ

れがある。その意味から早期国交

樹立が必要であると思ふ。

鄭： 同感である。日本が日本国内の朝鮮連

の活動を少しづつ阻止してくれれば有難い。

共産側の資金は日本をルートとして韓国に入り

入っている。この真は抗議をするわけにも

いかないが、韓国が治安の確保に苦勞

している事情だけは理解してほしい。

田中(栄一)： 日韓の国交が樹立すれば P.R. 光の地

により、北鮮系を韓国系に切り直すことも

可能になる。とにかく、日韓関係を

改善しようとする。グループが冷たいというは

解決したいものである。

鄭： 国交が正常化し、民間が強化されれば

在日朝鮮人の少くとも半数以上を吸収できる

と思う。

床次： 日本国民は未だ十分に韓国事情を

理解していない。今次訪問は大変有益

であった。

鄭： 日韓会談の事務的側面とは伊岡局長

と進めて行き、板垣、多少涼しくなる所頃

に、政治的抑衛を行なうべき案を早急に

解決するにしたい。

因口：自分は交渉の内容はよくわからないが、

交渉がデッドロックになっている原因は、それぞ

れの国内事情から、韓国は財産権を、日本は

漁業を速かに解決しようとしていることにある

と思う。しかし両国がいつまでもこのよう

な態度をとっていると時間ばかりかかると

一向に進捗しないと思うので、双方がこの

態度を改め、請求権と漁業は同時に解

決するといつても抑衛してやるのが

よいと思う。

鄭：非常に基本的な問題に示れられたが、韓国

側としては漁業の請求権も日本側の誠意

を示せば国際慣例もあることから円満に

解決できると思っている。皆さんが韓国の

視察され、戦災の模様の理解されたので

諸懸案も近く解決するものと信じている。

田口：日韓間の雰囲気は盛り上ったところだ

また日本漁船が拿捕でもされると空気が

が再び悪化するおそれがあるためその

ようなことのないようにしてほしい。他方

日本側でも業者が自粛するように指導し

た。



鄭： 最近 平和線内にて 漁業亦日本漁船の数が

増加している。 韓国側も なるべく 拿捕しない

ようにしているのだから、日本側でも 因交正常

化を美觀するといふ 大きな目的に於て、 産当

り 平和線内では 漁業をしないように 自粛

されるよう 要望する。

田口： 帰国の上は 十分自粛するよう に努めたい。

田中(寛夫)： 駐韓日本代表部と 一日も早く 置けるよ

うにしてほしい。

鄭： 非常によい提案だと思ふ。

田中海翁： 先程、鄭長官は、秋頃には 政治折衝

といわれたが、自分としては 一刻も早い方

かよいと思ふ。

福田： われわれの方では一日も早いことを希望

するが、韓国側でも国民にPRする時間を

必要とする事情も考えねばなるまい。

鄭： とにかく国民へのPRが必要である。

福田： 人の交流を推進することが急務だと

思ふ。

鄭： とにかく、伊周局長ともよくお話をし

和達な立場をよくわかっていただくたいと

思ふ。なお国交正常化前といえども文化人等

が訪韓されるならばいくらでも便宜を供

する用意がある。

極秘  
まで

伊関局長・金洛植次官 合談要旨

22年

(5月9日 午前9時30分より 約2時間)  
韓国外務部において

1 伊関局長より 合談要旨の方式として、(i)懸案

の「全面解決」か、または、<sup>双方</sup>(ii)国内事情等による早期解決

困難な漁業問題と請求権問題は原則位置をきめた

~~棚~~上げとし、法的地位、船舶、文化財を解決する

いわゆる「~~一部棚~~上げ」か、<sup>棚</sup>二つの方式があるとする

日本側としてはどちらでもいいのだが、韓国側は

師れを希望する事と真したのに対し、金次官は

全面解決を希望すると答えた。

2. 次に今後の取扱いについて意見と交換した

結果

(1) 予備会談は5月一杯で打切ると。(伊関

局長は6月上旬までかかってもいいと述べたが、

先方はなるべく早く打切りたいと述べた。)

(2) 6月—7月に、おるに国内で政治的決定

を行なうこと。(伊関局長より、この期間に、日

本側で所要の data を要求したらすぐ返せるよ)

韓国側で係官を定めておいてくれと申入れて

おいた。)

(ハ) 8月 (またはそれより少し早目に) 極秘裡に

両国政府間で政治折衝を行うこと。(その際、

請求権として支拂金額や漁業協定の内容について  
も話し合う。)

(ニ) 9月に本会談を開くこと。(本会談は12月位

で終ることと目標とする。)

に意見一致した。金次官は、本会談の場所は

東京でもソウルでもどちらでもよいと述べた。(金

次官が上のようなスケジュールを考えている主な理由

は、張國勳総理が7月末訪米から帰るといふこと

にあるようであったが、それとともに、金次官自身駐

英大使として赴任した以後、一応挨拶してから直ちに

帰国して、自合の手で交渉に当りたいという気持がある

事、に察せられ、後総理もこの方であるかの如き口

吻であった。

3. 個々の懸案の処理方式について次のように話し

合した。

#### (A) 法的地位

伊関局長より、退去強制を全然やらないわけ

にはいかない、また、永住権を未来永劫に

与えることにも問題があり、とにかく切符の必要が

あると述べたところ、金次郎はこれを受け、

法的地位は事務的に妥協できると思うと述べ

東京に任せるから東京で話を進めようといと述べた

(F) 船舶

(船舶は)

伊関局長より、トン数を定めるだけの問題で

あり、日本側としてはリストにはっきりあるものは

5~6000トンであるが、少しは色をつける用意がある

と説明した。

(G) 文化財

伊関局長より、文化財は韓国側が権利として

請求し、日本側が義務として返還することはできない

ので、文化協力の一環という意味で寄贈する

という形をとりたいと述べたところ、今次官は、

然って聞いた上で wording の問題であると述べた。

(H) 漁業

伊関局長より、日本側としては、領海を6マイル

に定めるが、12マイルに定めるかは韓国側の問

題だが、日本側としてはそれ以外の公海上の漁業

についてもある程度線とびく用意はある(魚種

により漁法により異なった線になるかも知れぬが)

しかし、韓国側の一方的な措置は絶対承認でき

ずが、あくまで日韓間の合意により線と定める

べきであり、かつ、規制措置は事実上は日本側

実施

のみが ~~実施~~ することになるわけだが、その規制

はあくまで日本側の自主規制として日本側で

取り締まるということに重兵をおいていふのだと説明

更に、具体的な規制措置は、合同委員会



調査結果に基づき逐次 review して修正する儀

要があるを述べた。金次官はこの考え方に

特別の異論を述べたかった。

また、伊関局長より、漁業協定の話しは12月

ではまとまりきうも、それから8月以前にでも話

合いを始めてはどうかと述べたが、金次官は

8月にしてくれと答えた。(先方は日本が請

求権をいくら拂うかをまず思たさいのと思われ

る。)

(ホ) 請求権

伊関局長より、日本側として、漁業問題さえ

解決するならば、請求権を解決するにとは異存はない

と述べた上、<sup>(i)</sup> はつまりした個人債権のようなものは

請求権として解決し、いわゆる一般的請求権は

無償経済援助とするか、もしくは<sup>(ii)</sup> すべてを無

償経済援助とするか、二つの解決方法があり、そ

の他に一般の経済援助（その中には、政府借款と

民間ベースのものもあり、民間ベースの中には、更に

純民間ベースのものも、政府が輸銀の資金面で面

倒をみるものもある）があるわけであると説明した。

これに対し、金次郎は、大体日本側の考え方

に乗って来た感いであったが、再三にわたって、無償

の経済援助はいくら位を考えた方がいいかと質し

た。これに対し、伊藤局長は、それは、ムシウツ

の政治折衝によって決定されるものであり、また韓

国側の希望もあろうから、今そこでは何とも

いえないと応酬した。また金次官が、経済

協力として どの程度内容のことを考えているのか

と質したのに対して、伊国局長は、韓国側の

個々の project を見に上げて決定されるべきもの

だが、そのものが出てくるだろうと答えた。

4. 金次官は、上記 1-3 の真については、本9日

午後 国務総理に報告することになったというから、

その上でもう一度連絡しようとした。(金次

官は、韓国側で日韓合談が一番熱心なのは国

務総理であると付言していた)。

[その後、5月12日の伊関・金第2回会談の  
席上、金次官は、6日の会談の結果は、<sup>は</sup> 円務総  
理に報告したが、<sup>(韓国側といた)</sup> 全面的に妥れて結構であると述  
べた。なお、別の情報によれば、張勉國務総  
理は、7日の閣議終了後、関係関係に於いての  
趣旨を述べた模様である。]

5. 経済使節団の訪韓については、金次官は、韓  
國側としては、いつでもいいと述べたので、伊関  
局長より、6月以降に実現することにしたと述べ  
た。

6. 駐韓日本代表部設置問題につき、金次官は、  
今後未だ議員団にどのように強く言われると、一寸、

今更にはいとは言えなくならず、暫く待つてほしい

と述べ、おしろ、本会談をソウルで開くことにより日

本側の希望が事実上達成されるようになるのではな

いかと述べていた。

(付) 伊関局長の所見 考之方 および指示事項  
(5月15日)

1. 自令が在韓中、友人等とも接触したところでは

韓国一般民衆は「日本と手を握る以外に生

きる途はない」という気持になっているよ

う。公式に面会する政府高官は必ず「6年の

支配云々を強い言葉で言うが、これは野党筋

が党利党略<sup>から</sup> ~~のため~~ 政府と党のやり方が親日

的に見えるると批判するのを予め防止するため、国民

の感に方以上に強い言い方をしているのが、

むしろ一般民衆は過去のこと ~~は~~ (多少のしり

はあろうが) とうてい ~~いい~~ という気持になっている

ように、議員団の先方の高良と会った時も、初

めはお互いに堅苦しい話もしたが、お互に言いた

いことを言い会った後は却ってさっぱりして大い

に意気投合していた状況だが、これなどは今次

訪韓の成果といえるだろう。

2. 今後のヤマは結局、日本側がいくら拂いか

肚をきめるにかかっていると思われる。自国の

一試算としては、無償経済援助を年~~5000~~ドル

5年間継続、計~~5億~~5000ドルと請求権に

基づく債権~~5000~~ドル、合計~~5億~~ドルとその

他に有償経済援助のため年~~5000~~ドルの資金

の枠を用意し、これを合せて、年1億ドルだとい

ことにする方がよいところではないだろうか。

結局、若は（はいね）請求権から虫食して、

結果としては一段高い立場で 韓国経済の筋

壊を防ぐため 面倒をみるという趣旨で、韓国経

済に実質的に貢献できるようなものを考えるべき

であらう。（

） 自民党

このようは考え方に懐いているものと思う。

因に 韓国側は 非公式の話し合いの際 5億ドル位

のらいた... 口吻であつた。



3. 局長指示事項

(1)

(2) 日本側として どうしても請求権として拂う  
拂う前迄をどうするか。大体いくら位になるか  
必要があるのは とれととれが1つつき 外務、大蔵

事務当局で 考えをまとめておくこと。(あまりけろ

たもの になりすぎないように) 支拂、12ものを

韓国側がどう使うかは 日本側の関知 するところでは

はなく、ただ 日本側としては それによつて請求権

を免責されればよい。 韓国側が 受けとつた金

をすべて 社会保障費に 廻すのも一案では無いが

ろうか。

(2) 漁業協定に關する日本側案を2つ準備する

こと

(4) 準備会談を終了するに際し、各分科委員会の

議論をどのような形でまとめ、どのように本会議

に報告するかを研究すること。

(5) 本会議を東京で開くのがよいか、ソウルで開く

のがよいか、外務省としての意見を定めること。

(6) 国交正常化の方式として、法的地位協定と漁業

協定署名と同時に国交正常化の共同宣言をすれば

関連協定の国会批准前でも国交正常化が実現し

支

大使の挨拶ができるかと考えてよいか。

別添(1)

自民党派遣議員及び伊関アジア  
局長の訪韓日誌

206年

5月6日(土)

- 0930 羽田空港発(NWA)  
1100 (以下韓国時間)金浦空港着  
野田团长の挨拶  
1150 同空港発  
1230 メトロ・ホテル着  
1430~ 1700 ソウル市内視察(秘苑景福宮、昌  
德宮、德寿宮、南山公園等)  
1900~ 2100 民主党参議院院内総務(金龍周)  
による招宴(コリア・ハウス)

5月7日(日)

- 0800 汝矣島空港発(Air Korea)  
0910 水宮(釜山)空港着  
0920~ 0940 国連軍共同墓地参拝  
1000~ 1020 慶尙南道知事(李基周)訪問  
1020~ 1100 釜山の知名人士と会談  
野田团长記者会見

11.10~ 釜山港灣施設視察

11.45

12.30~ 午餐会（東萊別荘）

14.00

14.20~ 榮喜化学工業社視察

14.40

14.50~ 第一製糖工業株式会社視察

15.10

(14.00~15.30 金子、田口兩議員は釜山

外国人収容所および釜山魚市場を  
視察)

15.30~ 東明木材株式会社視察

15.50

16.00~ 釜山市長（金鍾圭）訪問

16.20

16.20~ 野田團長記者会見

16.50 （市庁講堂）

17.40 水營空港発（Air Korea）

18.45 汝矣島空港着

20.00 新民党民議院院内総務（梁一東）

による招宴（清雲閣）

5月8日(月)

09.30~ 尹潽善大統領礼訪  
09.50

10.00~ 張勉國務總理礼訪会談  
11.00

11.15~ 白樂濬參議院議長礼訪会談  
11.30

11.40~ 李榮俊民議院副議長礼訪会談  
12.15

12.30~ 李民議院副議長招待の午餐会  
13.50 (半島ホテル)

14.00~ 鄭一亨外務部長官礼訪会談  
15.00

15.10~ 金永善財務部長官礼訪会談  
16.40

18.30~ 鄭外務部長官招待の Cocktail  
19.30

20.00 經濟<sup>4</sup>部長官主催の晚餐会

5月9日(火)

10.15~ ソウル特別市長(金相敦)礼訪  
10.55

11.00~ 朴濟煥農林部長官礼訪会談  
12.00

(09.30~11.30 伊関局長・金溶植外務事務次官会談)

12.00~ 金裕沢氏主催昼食会(三養クリル)  
13.30 (田中龍夫、床次徳二、福田一、金子徳<sub>三</sub>議員出席)

同 李忠煥新民党政策委員長主催昼食会(半島ホテル)  
(野田卯一、田中栄一、田口長治郎議員出席)

14.00~ 朱燿翰復興部長官礼訪会談  
14.50

15.00~ 民主党幹部と会談(半島ホテル)  
16.00

16.00~ 抗日斗争委員会代表と会談  
16.30 (半島ホテル)

17.00~ 新民党幹部と会談  
18.00 (新民党本部)

18.30~ 大韓商工会議所招待の晩餐会  
20.30 (外交クラブ)

5月10日(水)

0900~ 映画「成春香」観賞  
1130

(1100~1200 伊関局長・朴交通部長官  
会談)

1240~ 韓通淑通信部長官主催午餐会  
1410 (呉緯泳無任所長官出席)

1430~ 曹在千内務部長官礼訪会談  
1530

1600~ 太完善商工部長官礼訪会談  
1730

1800~ 朴興植氏主催夕食会(同氏宅)  
1930

1950~ 韓国海苔需給組合代表者と会談  
2100 (半島ホテル)

2100 民主党新風会代表者と会談  
(清雲閣)

5月11日(木)

0830~ 玄錫虎国防部長官礼訪会談  
0915

0930~ 陸軍士官学校視察  
1030

1200 着（ヘリコプター）  
同地 にて昼食

1330～ 板門店休戦会議場視察  
1430

1600 メトロ・ホテル帰着

1830～ 経済協議会主催晩餐会  
2030

5月12日（金）

1030～ 國務總理往訪 離韓の挨拶  
1045

1100 野田團長記者会見（メトロ・ホテル）  
（1100～1130 伊闕局長・金溶植外務事  
務次官会談）

1200 メトロ・ホテル発

1230～ 國軍墓地参拝  
1240

1450 金浦空港発（NWA）

1800 （日本時間）羽田空港着



別添(2)

一行氏名

団長	自民党衆議院議員	野田 卯一
団員	同	田中 龍夫
同	同	田中 角栄
同	同	田中 栄一
同	同	床次 徳二
同	同	福田 一
同	同	田中 長治郎
同	同	金子 岩三

外務省	アジヤ局長	伊南 佑二郎
同	北東アジヤ課事務官	柳谷 謙介
同		堀 泰三